

3年連続でベストブース賞に

建設技術展 2011 近畿

関西鉄筋工業協同組合

11月1日と2日の二日間にわたりマイドームおおさか（大阪府中央区）で開催された「建設技術展2011近畿」で、関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は来場者の投票で選ばれるベストブース賞を3年連続で受賞しました。

施工分野の7ブースのスペースで「もっと知って！鉄筋工事のこと！」をテーマに出展した組合では、女性職人の結束作業による実演をはじめ今回の出展の目玉となるボックスカルバートの配筋、加工機、自動結束機、圧接技術、スペーサー、積算システムなどを展示し、来場者の関心を集めました。また、結束体験や太さの異なる鉄筋の重さを当てるコーナーも設け、一般の来場者だけでなく高校生など多数が参加して賑わいました。このほかにも、阪神大震災で鉄筋の役割や重要性を説明した「鉄筋新聞」や学校関係者向けの出前講座のパンフレットも配布しました。

2日の最終日に行われた表彰式では、注目技術賞審査委員会委員長の大塚俊介・近畿地方整備局企画部長から、各賞を受賞した代表とともに、ベストブース賞に選ばれた組合の岩田理事長に賞状が贈られました。講評した大塚企画部長は「土木・建築技術は社会の持続発展を支える社会的技術であり、この技術の発展なくして社会の発展はあり得ない。自然災害の多いわが国で磨き抜かれた技術は国際的に大きく貢献できる可能性を秘めている。今後も技術を磨き、国際社会の発展に繋げてほしい」と話しました。「ええもん使こて ええもん創ろ！」をテーマに開催された同展は、二日間で延べ1万4000人の来場者を集めました。

今回の技術展で組合のブースに出展した賛助会員及び協賛企業は次の通り（順不同）。

岸和田製鋼(株)、共英製鋼(株)枚方事業所、ダイワスチール(株)大阪営業部、東京鉄鋼(株)大阪営業所、中山鋼業(株)、東陽建設工機(株)、関西圧接業協同組合、佐藤商事(株)、(株)ディビーエス、(株)日本インダストリー製作所、(株)京都スペーサー、マックス(株)、(株)ジェム、(有)ピーシーエス、(株)アーキテック。

